

さいたま市大宮地域の小学生を対象としたまちの将来像に関するアンケート調査

正会員 内藤 義人*1
同 三浦 昌生*2

アンケート調査 まちの将来像 小学生

1. 研究の目的

従来、居住環境に関するアンケート調査が数多く行われているが、それらは、大人を対象とした調査であり、子供を対象とした調査は少ない。そこで、本研究では21世紀を担う子供たちがまちの将来像に対して、どのような考えや期待を持っているかを調査するために、さいたま市大宮地域の小学生を対象に、まちの将来像に関するアンケート調査を行った。

2. アンケート調査方法

さいたま市大宮地域の36の小学校から立地条件等を考慮して抽出した4校に東京都調布市の1校を加えた5校を対象として、各学校の4年生と6年生のそれぞれ1学級の児童に対し、まちの将来像に関するアンケート調査を行った。対象とした小学校の概要を表1に、各小学校で対象とした学級における児童数を表2に示す。

「大人になったらどのようなまちに住みたいか」という質問に対し、安全性(道路、災害など7項目)、健康性(水、空気など7項目)、快適性(景観、公園など5項目)、利便性(交通、公共施設など7項目)、コミュニティ(近所付き合い、行事、ボランティア活動など7項目)、自然(田畑、森林、小動物など9項目)の6カテゴリー42項目の選択肢をつくり、複数回答、友達と相談することも可として、自由な雰囲気アンケートに答えさせた。さらに、自由記入欄として、「42の項目以外で住んでみたいまち」と「アンケートに答えた感想等」を書かせた。なお、アンケート票には上記の～のカテゴリー分類は提示しなかった。

3. 集計結果

図1に、全42項目の内、ひとりの児童がいくつ選択したかを示す項目選択数のヒストグラムを示す。26項目～30項目

表1 対象学校の概要(2001年5月1日現在) (学校更覧より)

| | 所在地 | 児童数 | 備考 |
|------|-----------|-----|--------------------|
| A小学校 | 調布市柴崎 | 687 | 都心寄りの緑豊かな住宅市街地 |
| B小学校 | さいたま市大門町 | 400 | 大宮駅前の繁華街 |
| C小学校 | さいたま市堀の内町 | 717 | 都市化の進んだ地域だが緑地も残存 |
| D小学校 | さいたま市飯田 | 561 | 大宮プラザをはじめとした良好な住環境 |
| E小学校 | さいたま市中釘 | 401 | 緑豊かな農業地域 |

表2 対象学級の回答者数(単位:人)

| | A小学校 | B小学校 | C小学校 | D小学校 | E小学校 | 合計 |
|----|------|------|------|------|------|-----|
| 4年 | 39 | 36 | 27 | 34 | 33 | 169 |
| 6年 | 29 | 24 | 30 | 50 | 29 | 162 |

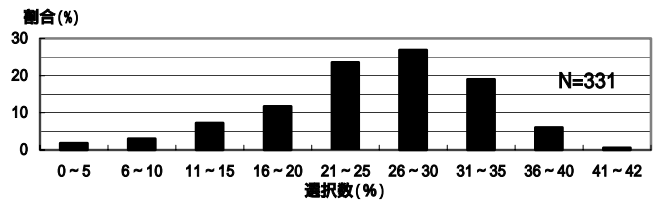


図1 項目選択数のヒストグラム

目を選択している児童が27%と最も高く、21項目～25項目(24%)、31項目～35項目(19%)と続いた。約7割の児童が21項目～35項目を選択しており、意識の高さが伺えた。

図2に、どのようなまちに住みたいかを聞いた結果をカテゴリー分類ごとに示す。全42項目のうち、5割以上の児童が選択した項目が31項目もあり、こうした居住環境に対する関心の高さが伺える。安全性では、「地震がきても被害が小さいまち:89%」と「火事がきても被害が小さいまち:89%」が高く約9割の児童が選択しており、「自転車

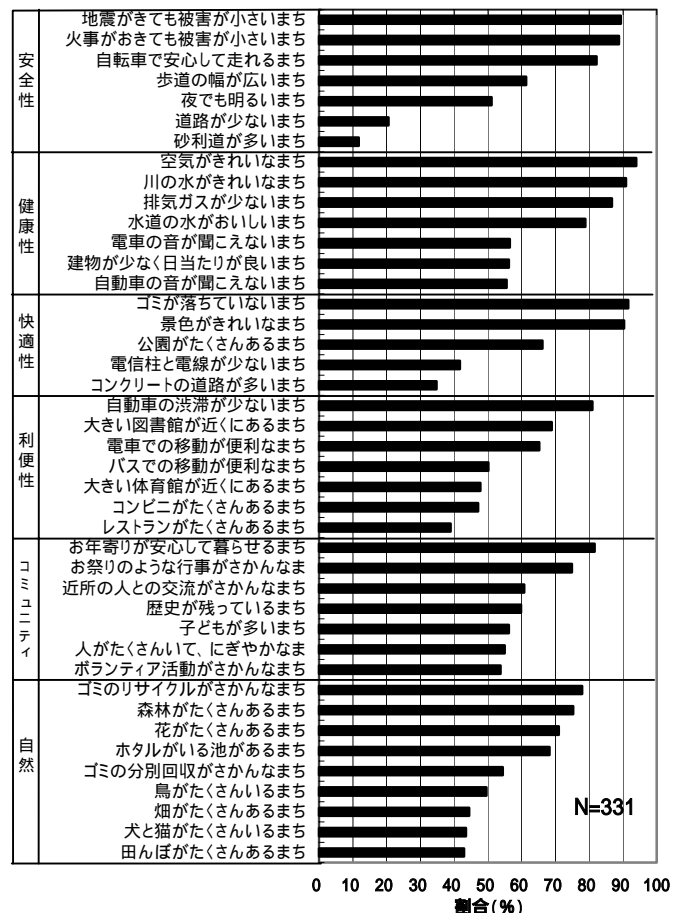


図2 どのようなまちに住みたいか(複数回答)

安心して走れるまち：82%」と続いた。健康性では、「空気がきれいなまち：94%」、「川の水がきれいなまち：91%」が高く9割を超え、「排気ガスが少ないまち：87%」、「水道の水がおいしいまち：79%」と続き、全ての項目で5割を超えた。快適性では、「ゴミが落ちていないまち：92%」、「景色がきれいなまち：90%」が高く9割を超え、「公園がたくさんあるまち：66%」と続いた。利便性では「自動車の渋滞が少ないまち：81%」が多く、「大きい図書館が近くにあるまち：69%」、「電車での移動が便利なまち：65%」と続いた。コミュニティでは、「お年寄りが安心して暮らせるまち：82%」が高く、「お祭りのような行事が盛んなまち：75%」と続き7項目全てで5割を超えた。自然では「ゴミのリサイクルが盛んなまち：78%」が高く、「森林がたくさんあるまち：75%」、「花がたくさんあるまち：71%」と7割を超え、「ホテルがいるような池があるまち：68%」と続き、全ての項目で5割を超えた。

図3に、学校別の項目選択率を示す。どの学校においても健康性を重視する児童が多く、全体で74%の児童が選択していた。次いで、快適性(58%)、利便性(57%)と続いていた。学校別に見てみると、C小学校はどのカテゴリーでも他の学校より比率が高く、利便性、自然で他の学校を大きく上回っていた。逆にB小学校は、安全性と利便性で他の学校より比率が低かった。

表2は、42の項目以外で住みたいまちについて聞いた自由記入の抜粋である。環境面では、自然(山や海、川など)、動植物、ゴミ等、様々な意見があった。他には、治安や災害、バリアフリー、スポーツ関連、気候等が記されていた。表3は、アンケートに答えた感想を聞いた自由記入の抜粋である。「アンケートで自分が」をつけた(選択した)まちが本当にできるといい」と書いた児童は全体の7割に及び、このアンケートを通して、将来の都市のあり方や、その環境に対する意識を喚起する効果があったと考えられる。表4は、アンケートに答えている児童を見た上で、担任の教師が書いた感想等の抜粋である。「総合学習の導入として、ちょうど良かった」や「楽しそうに答えていた」等、アンケートの趣旨に理解を示す意見が多かった。

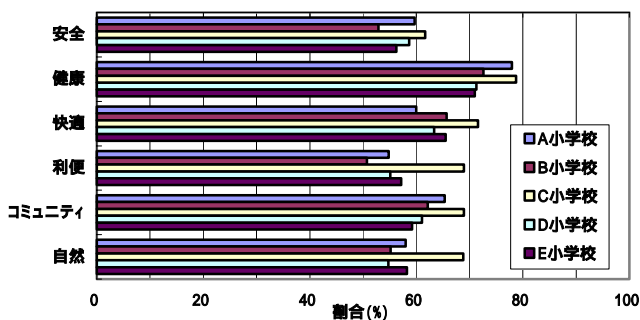


図3 カテゴリー別の項目選択率 (サンプル数=児童数×カテゴリーの項目数)

表2 42の項目以外で住みたいまち(抜粋)

- ・手付かずの自然が残っている所。
- ・静かで、森林があって、動物もいて、海もきれいなまち。
- ・空気がきれいで、星が見えるまち。
- ・広い公園や野原があって、のんびり遊べる所。
- ・木や花がたくさんあって、排気ガスが少なくきれいなまち。
- ・事故がなくて安心して暮らせるまち。
- ・景色がきれいで、川の水がきれいな所。

表3 アンケートに答えた感想(抜粋)

- ・アンケートに書いたことが本当になったらいい。
- ・そんなまちに住んでみたいと思った。
- ・住み良いまちができたらいいなと思いました。
- ・自分たちの力で理想のまちづくりをしてみたいと思った。それには地域の人たちが協力していかなければならない。
- ・みんなが満足するようなまちを作るのは大変だと思う。だけど本当にそういうまちが作れたらいいと思う。
- ・よく考えると、自分が住みたいまちの条件はすごくたくさんあった事に気づきました。
- ・今のまちは、アンケートで答えたこととは反対だと思った。
- ・今住んでいるところは、自然が多くなく空気もあまりきれいではないので、空気がきれいで自然の多いまちに住んでみたいです。

表4 担任の先生の感想等(抜粋)

- ・実際の生活場面に目を向けた時、子ども達の素直な夢を感じました。アンケートの結果について話し合った時、とても楽しそうな雰囲気でした。(A小学校)
- ・子ども達の願いとしてのキーワードは“幸せ”“人の交流”“みんなが楽しい”“安全”等があげられていました。また、アンケートにあるまちを実現したいという願いも多く見られました。(E小学校)
- ・自然の大切さを感じている子どもも多く、自分たちのまちについて改めて考える良い機会だったように思います。また、環境問題やボランティアなど、学校で学習したことについて触れて回答している子どももいて、こういったことに取り組んできた甲斐があったなとうれしく思いました。(E小学校)
- ・総合的な学習の時間で“生活を見直す”という単元を学習予定でしたので、導入にもちょうど良いアンケートになりました。アンケート結果を見て、“便利さ”と“環境への配慮”両方追及したい気持ちがあるのだなと改めて思いました。これから両方をどう共存させていくか、子ども達がどう考えていくか楽しみです。(C小学校)

4. まとめ

今回の調査では、児童が幅広い分野のまちの将来像に関心があり、その中でも、空気や水などの健康性の選択の割合が高かった。これは、ごく身近な生活レベルでの環境に関心があるためと考えられる。児童が「住み良いまちにしたい」等、まちの将来像に関心を持ったことに意味があり、総合学習の一環にもなったことが本研究の一番の成果と言える。また、クラス毎の結果をまとめたプリントを2002年3月中旬に小学校に送付した。これを児童が読むことで、改めてまちの将来像に対する関心を高められると考えられる。

最後に、アンケートにご協力いただいた調布市立上ノ原小学校、さいたま市立大宮小学校、同大宮東小学校、同栄小学校、同指扇北小学校の校長先生ならびに担任の先生、児童には心から感謝します。

*1 御殿場市役所(当時芝浦工業大学学部生)

*2 芝浦工業大学教授 工博

Gotemba Municipal Government

Prof., Shibaura Institute of Technology, Dr. Eng.